

JSSSF NEWS 38

Japan Securities Scholarship Foundation

2019-2020



公益財団法人 日本証券奨学財団

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-5-8 東京証券会館3階

URL <https://jssf.or.jp> TEL 03-3664-7113 E-mail jssf.office@jssf.or.jp

since 1973

全国の奨学生に対して 緊急奨学生支援金を支給しました

本財団では、今般の新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、世帯収入・アルバイト収入等が減少している奨学生の皆さんへのお力添えとなるよう、緊急奨学生支援金を給与することを理事会で決定し、2020年5月15日、奨学生103名に対し一律3万円を支給しました。



写真は全国の奨学生が集合した2019年度奨学生懇談会より

本号の主な内容

●2019年度(第46回)奨学金授与式	2	●研究調査助成・研究出版助成受給者	11
●2020年度(第47回)奨学金授与式	3	●2021年度研究調査・研究出版助成募集要項	12
●2019年度奨学生懇談会	4	●証券奨学同友会の活動	13
●2020年度(第46回)奨学生修了式	5	●感謝状の贈呈/ご寄附のお願い	14
●証券奨学生の集い	6	●寄附者御芳名	15
●2021年度奨学生募集要項	9	●修了者インタビューへのご寄稿募集他	16
●研究調査・研究出版助成金贈呈式	10		

奨学金授与式

■2019年度(第46回)奨学金授与式

2019年度の奨学金授与式は、2019年7月5日(金)、東京都千代田区一ツ橋の如水会館において開催しました。

ご来賓として大学関係者の皆様、本財団役員、評議員、奨学生選考委員、証券奨学同友会幹事、ご寄附をいただいた証券業界の方々など、多数の皆様にご参加いただきました。

本年度の奨学金授与式は1974年度の第1回から数えて46回目となり、本年度採用の奨学生を含めた奨学生の総数は3,863名となりました。



稲野理事長



宮島委員



採用奨学生の皆さん



慶應義塾大学 岩波様

奨学金授与式では、はじめに稲野和利理事長から挨拶が述べられ、次いで宮島司奨学生選考委員から挨拶をいただきました。続いて、博士課程、修士課程、学部の代表者に、稲野理事長から奨学生証書が授与されました。

その後、大学関係者のご来賓を代表して、慶應義塾大学常任理事岩波敦子様から祝辞をいただきました。最後に、本年度採用の奨学生を代表して、慶應義塾大学大学院博士課程の早崎成都さんから今後の研究の抱負と謝辞が述べられ、奨

学金授与式は滞りなく終了しました。

式典終了後、会場を改めて参加者全員による「奨学金授与式懇親パーティー」が催され、廣瀬克哉奨学生選考委員のご発声による乾杯の後、大学、専攻、世代の垣根を越えた歓談が行われました。

懇親パーティーの締め括りは、新潟大学副学長箕口秀夫様により中締めのご挨拶をいただき、散会しました。

2019年度大学別採用者数

大学名	採用	大学名	採用
北海道大学	3	早稲田大学	2
東北大学	1	横浜国立大学	2
新潟大学	3	名古屋大学	1
筑波大学	2	名古屋市立大学	2
お茶の水女子大学	2	京都大学	2
首都大学東京	2	同志社大学	2
東京大学	2	立命館大学	2
東京工業大学	2	大阪大学	2
一橋大学	2	大阪市立大学	2
慶應義塾大学	1	関西大学	3
上智大学	2	神戸大学	2
中央大学	2	関西学院大学	0
日本大学	2	広島大学	3
法政大学	2	九州大学	1
明治大学	3		
立教大学	2	総合計	59

次 第	
■ 開 式	
一. 挨拶	理 事 長 稲 野 和 利
一. 挨拶	奨 学 生 選 考 委 員 宮 島 司
一. 奨学生証書授与	
一. 祝 辞	慶 應 義 塾 大 学 常 任 理 事 岩 波 敦 子
一. 謝 辞	奨 学 生 代 表 慶 應 義 塾 大 学 大 学 院 博 士 課 程 早 崎 成 都 (敬称略)
■ 閉 式	
	以 上

※文中の所属・役職は当時のものです。



修士課程生代表
細川さん



博士課程生代表
早崎さん



学部生代表
長谷川さん



廣瀬委員



新潟大学 箕口様



2020年度(第47回) 奨学金授与式

2020年度の奨学金授与式は、8月19日(水)及び21日(金)の2回に分け、Web会議システムを利用して開催しました。

ご来賓として本財団役員、評議員、奨学生選考委員、証券奨学同友会幹事、ご寄附をいただいた証券業界の方々など、多数の皆様にご参加いただき、ご来賓全員からそれぞれご祝辞や激励のお言葉をいただきました。

また、本年度採用の奨学生54名全員から自己紹介を兼ねて、大学院生には「将来の計画と研究内容」を、学部生には「将来に向けて実践或いは計画していること」についてお話していただきました。

本年度の奨学金授与式は1974年度の第1回から数えて47回目となり、本年度採用の奨学生を含めた奨学生の総数は3,917名となりました。

2020年度大学別採用者数

大学名	採用	大学名	採用
北海道大学	3	早稲田大学	2
東北大学	2	横浜国立大学	2
新潟大学	3	名古屋大学	2
筑波大学	2	名古屋市立大学	2
お茶の水女子大学	0	京都大学	2
東京大学	2	同志社大学	3
東京工業大学	0	立命館大学	2
東京都立大学	2	大阪大学	0
一橋大学	2	大阪市立大学	2
慶應義塾大学	2	関西大学	2
上智大学	1	神戸大学	2
中央大学	1	関西学院大学	2
日本大学	1	広島大学	3
法政大学	1	九州大学	2
明治大学	2		
立教大学	2	総合計	54

2019年度 奨学生懇談会

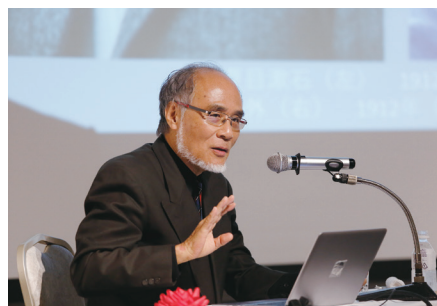


全国の奨学生 136 名が参加

全国の奨学生が集合

「奨学生懇談会」は、大学・学部・専攻・年次を異にする奨学生相互の交流・親睦を図るため、毎年開催しているものです。

2018年度までは東西2会場で開催していましたが、2019年度は全国の奨学生が一堂に会する機会とするため、会場を東京に一本化して開催しました。



小林副委員長



中島評議員

2019年10月19日(土)、東京都千代田区一ツ橋の如水会館において、推薦大学30大学の奨学生136名、証券奨学同友会員39名、大学から奨学金ご担当者の24名、財団からは奨学生選考委員の先生方をはじめ役員・評議員・寄附者の17名の総勢216名の参加を得て開催されました。

懇談会は、講演の部と懇親の部からなっており、講演の部では、稲野和利理事長の挨拶に続き、小林康夫奨学生選考副委員長(青山学院大学大学院特任教授、東京大学名誉教授)と中島隆博評議員(東京大学教授)から「日本を解き放つ

——日本文化の可能性を、いま、考える」をテーマに対談していただきました。

懇親の部では、伊達悦朗奨学生選考委員(関西大学教授)の乾杯の挨拶により会が始まり、参加者相互に親睦を深めていただきました。その後、各大学の現役・出身者の写真撮影を行いました。

懇親の部の締め括りは、関西大学学生センター副所長馬場圭太様により中締めのご挨拶をいただき、散会しました。



伊達委員



関西大学 馬場様

※文中の所属・役職は当時のものです。

※「2020年度奨学生懇談会」は、開催見送りとなりました。

2020年度
(第46回)

奨学生修了式

2021年3月12日(金)
東京証券会館

2020年度の奨学生修了式は、2021年3月12日(金)東京都中央区日本橋茅場町の東京証券会館においてWeb会議システムを併用して開催しました。式場では、稲野理事長から博士課程生、修士課程生、学部生それぞれの代表者に修了証書と修了記念品を授与しました。

本財団奨学生修了者は、本年度の71名の皆さんが加わり、総勢3,787名となりました。



稲野理事長



佐々木委員長



小林副委員長

2020年度の奨学生修了式はWeb会議システムを併用して開催しました。式場に大型スクリーンを設置して全国の皆さんを映し出すことにより、賑やかな雰囲気のもとで多くの奨学生修了者の視聴を可能とし、例年さながらの盛況となるよう工夫しました。



奨学生修了者の皆さん



奨学生修了証書授与



奨学生修了者代表謝辞

東京証券会館に設けられた式場では、はじめに稲野和利理事長から挨拶が述べられ、次いで佐々木正峰奨学生選考委員長から挨拶をいただきました。

奨学生修了証書及び記念品授与の際には、大型スクリーンに映し出された奨学生修了者一人ひとりのお名前をお呼びし、式場では、奨学生修了者を代表して、慶應義塾大学大学院博士課程の周郷万里菜さん、東京大学大学院修士課程の細川悠暉さん、上智大学の浅野乃有里さんに、稲野理事長から奨学生修了証書と修了記念品が授与されました。

その後、代表者3名から謝辞が述べられ、最後に小林康夫奨学生選考副委員長から祝辞をいただき、奨学生修了式は終了しました。



次 第			
■ 開 式			
一、 挨拶	理 事 長	稲 野 和 利	
一、 挨拶	奨学生選考委員長	佐 々 木 正 峰	
一、	奨学生修了証書及び記念品授与		
一、 謝 辞	博士課程生代表 慶應義塾大学大学院	周 郷 万 里 菜	
	修士課程生代表 東京大学大学院	細 川 悠 暉	
	学 部 生 代 表 上 智 大 学	浅 野 乃 有 里	
一、 祝 辞	奨学生選考副委員長	小 林 康 夫 (敬称略)	
■ 閉 式			以 上

※「2019年度奨学生修了式」は、開催を中止しました。

証券奨学生の集い

2019年度は10大学で「証券奨学生の集い」を開催しました。

それぞれの「集い」には現役奨学生と各大学のOB・OGが集まり、大学からは副学長や奨学金の窓口のご担当者にも参加いただきました。また、財団からは稲野理事長を始めとした役員、評議員、奨学生選考委員及び職員が参加しました。

司会進行は主に奨学生が担当し、副学長等の挨拶や乾杯のあと、参加者全員の自己紹介と近況報告が行われ、交流・親睦が図られました。

各大学における「集い」の様子は次のとおりでした。

1 東北大学 (2019年10月31日 於：自遊庵 ねぎぼうず)

理学部2年 穂満 理生

2019年10月31日(木)、「東北大学証券奨学生の集い」が開催されました。

財団が発足して間もない頃の奨学生だった方から修了したばかりの方まで幅広い世代の方々に参加いただきました。

お互いに自己紹介をする場では、数十年前に卒業した同友会員の方と現役奨学生が同じ学科で学んでいることが分かって当時と今の違いを感じる場面があり、他にも最近の出来事や今の仕事・勉強していることから東北大学の好きなお店・面白いところまで様々な話題が上がり、沢山の質問が飛び交う活気あふれる会となりました。宮城のお酒や料理をいただきながら世代を超えて活発な交流が行われ、盛況の中終了しました。

現役奨学生として、今後の「集い」も奨学生・同友会員間の交流の場として活気のある会とするためにも、継続的に参加していきたいとの思いです。



2 名古屋大学 (2019年11月6日 於：シェ ジロー)

人文学研究科 博士後期課程1年 高畑 早希

2019年11月6日、「名古屋大学証券奨学生の集い」が開催されました。会には、同友会会員8名と財団や大学関係者および、現役奨学生3名の総勢19名が参加しました。

私たち奨学生のために、ご多忙の中このような機会を設けてくださった関係者の皆様に、厚くお礼申し上げます。

懇親会のメインは、参加者ひとりひとりによる自己紹介でした。第一期修了生から本年度採用生まで、さまざまな社会的背景をもつ参加者のみなさまの語りは、ライフストーリーの様相を帯びて筆者の胸に響きました。

修了生の中には、奨学金を受給しながら研究を続けた時期や、当時の困難な社会状況を振り返って、声を詰まらせる方もいました。賑やかなことの多い懇親の場において、<沈黙の時間>はめずらしいかもしれませんが、この時間は、私たち奨学生にとって、本奨学金制度の意義や重みを反芻するための大変貴重なひと時でした。

筆者は、日本証券奨学財団の奨学金によって研究を続けるための「一歩」をいただきました。この先は、自身の研究を社会へ届ける責任があると、本会に集った先輩方の経験を拝聴して決意を新たにしていきます。「大学院生時代は死ぬほど勉強しました」と断言された、第一期修了生の先輩の言葉を励みに、今後も頑張っていきたいと思えます。



3 上智大学 (2019年11月11日 於：オー バカナル紀尾井町)

法学部3年 浅野 乃有里

「上智大学証券奨学生の集い」は、11月11日(月)に大学所在地において、同友会員5名と奨学生5名のほか大学関係者と財団事務局の支援を受け、総勢19名で開催しました。

出席者の自己紹介と近況報告を行い、同友会員と奨学生の懇親が進められました。先輩の同友会員からは「大学時代は奨学金支援で大変助けられ有難かった」「今後もこのような集いを定期的に開催してほしい」といったコメントがありました。また世界的に活躍されている先輩方も多く、国際問題・課題の現状やグローバル教育の大切さなど、上智大学ならではの会話も弾み、有意義な時間を過ごすことができました。

今回の懇談会の中で、先輩方から興味深いお話を沢山伺うことができたことを大変嬉しく思い、同じ奨学財団の奨学生であることに誇りを感じました。同友会員と奨学生の間の絆が深まり、繋がり合う集いが継続開催されることを願っています。



4 明治大学 (2019年11月13日 於: GARB pintino)

農学研究科 博士前期課程 2年 加藤 拓

「明治大学証券奨学生集い」は、2019年11月13日(水曜日)に東京都神保町のGARB pintino(ガープ ピンティノ)において、同友会員6名と奨学生7名のほか、大学関係者と財団事務局の支援を受け、総勢21名で開催されました。

懇親会では、理事長のご挨拶と明治大学の副学長の乾杯のご挨拶がありました。その後、出席者の自己紹介と近況報告が行われました。同友会員の先輩方からは、学生時代の思い出や現在のお仕事の内容、わが母校明治大学の自慢など魅力的なお話がありました。一方で、奨学生からは、現在行っている研究のお話やサークルなどの話で、食事するのを忘れるほど、とても有意義な時間を過ごすことができました。最後に学生支援事務長の中締めあいさつで終了致しました。

奨学生代表としてこのような会に参加でき、横や縦のつながりはとても大切なものであると再認識するとともに、今後もこのような懇親会に参加したいと思いました。



5 法政大学 (2019年11月20日 於: Maison de la Bourgogne)

理工学研究科 博士前期課程 1年 高畑 慶

「法政大学証券奨学生集い」は、2019年11月20日(水)に東京都新宿区のMaison de la Bourgogne(メゾン・ド・ラ・ブルゴーニュ)において、同友会員8名と奨学生5名のほか大学関係者と財団事務局の支援を受け、総勢25名で開催しました。

理事長のご挨拶と法政大学の副学長の乾杯のご挨拶の後、出席者の自己紹介と近況報告が行われました。同友会員の方から「奨学金のおかげで資格のための勉強に打ち込めた。感謝しているので、自分も(恩を)返したい」というコメントがありました。言葉に出さずとも多くの方は、このような思いで参加してくださったと思います。現役奨学生からも感謝の言葉が多くありました。

私たち奨学生のために、ご多忙の中このような機会を設けてくださった関係者の皆様、参加してくださった皆様に、厚くお礼申し上げます。社会に出た後、社会や財団へ返していけるよう精進したいと改めて思いました。



6 同志社大学 (2019年11月25日 於: 仙鶴)

商学部 3年 北川 真伊

2019年11月25日に、京都市内において、同志社大学の「日本証券奨学財団 奨学生の集い」が開催されました。

お食事が始まり少し経ったところで一人ひとり自己紹介をし、奨学生たちは、今自分が一生懸命になっていることや興味を持っていることなどについて近況報告をしました。奨学生OB・OGの方々からは、現在の仕事内容や奨学金を受給していた大学時代の思い出などをご紹介いただきました。全員がお互いの新たな一面を知ることができたおかげで、少し緊張した雰囲気だった懇親会が一気に和らぎました。

近況報告の他に同志社大学の良い所を一人ずつコメントしましたが、学生の視点、OB・OGの視点、大学関係者の視点から大学の良い所をそれぞれ発表し、全員が大学の良さを改めて感じ、財団の方々にも同志社大学の良さを知っていただけたと思います。その後は多種多様な話題で盛り上がりました。

最後は清水寺のライトアップをバックに全員で集合写真を撮影しました。入木様ご自慢の全方位カメラも登場し、楽しいスナップが撮れました。

東京で行われる奨学生の集いは大規模ですが、今回は参加者19名とアットホームな集まりでした。そのため、普段あまり話す機会のない日本証券奨学財団の稲野理事長様、常務理事の入木様、主任調査役の清水様と色々なお話ができたことや、距離がとても近かったのがとても良い点だと思いました。また、奨学生同士はもちろんOB・OGの方々や大学の事務の関係者との繋がりを深められた点も良かったと思います。

このような懇親会を開催していただき、ありがとうございました。



7 中央大学 (2019年11月27日 於: オステリアタイム)

法学部政治学科 4年 柴木 達哉

「中央大学証券奨学生の集い」は、2019年11月27日(水)に東京都立川市のオステリアタイムで開催され、同友会員2名と財団や大学関係者および、奨学生8名の総勢17名が参加しました。

懇親会では、理事長のご挨拶と学生部長の乾杯のご挨拶がありました。その後、出席者の自己紹介と近況報告が行われました。同友会の先輩方からは、現在のお仕事の内容や学生時代のエピソード、大学の良い所など魅力的なお話がありました。

また、奨学生からは、現在力を入れて取り組んでいることや、大学の良い所などの話がありました。中央大学の良い所については、「キャンパスが広い、学食が充実、学習環境が整っている」というコメントが大多数を占めておりました。

現在社会でご活躍されている先輩方と交流することができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。このような集いを通じて、縦横の繋がりの大切さを再認識するとともに、財団からの手厚いサポートを励みに残りの学生生活を有意義なものにしたいと思いました。

この度は、このような貴重な機会をいただきましたことに、改めて感謝致します。

今後とも、日々邁進していければと思っております。



証券奨学生の集い

8 横浜国立大学 (2019年11月28日 於：クルーズ・クルーズ YOKOHAMA)

国際社会科学府 博士課程後期1年 須原 菜摘

2019年11月28日、「横浜国立大学証券奨学生の集い」が開催されました。財団や大学関係者、同友会員および5名の現役奨学生を含む、総勢16名の会となりました。

歓談の途中では、参加者全員の自己紹介や近況報告をする時間もあり、横浜国立大学の自慢できるところや冗談も交えて、かしくまった場でありながらも温かい空気に包まれました。普段接する機会の少ない方々と交流することができ、非常に有意義な時間となりました。

また、稲野理事長の利他主義の意義についてのお話は、とても心に響きました。日々激化していく競争社会にあっては、直接すぐに結果の見えるもの、効率的なものを追い求めることの価値が高まるようであり、広い視野に立ち、自らの心・信念に従い進み続けることもまた大切なことであると、背中を押されたような気がしました。

幸い私たち奨学生は、将来的に社会貢献していく確信をもちながら、その実現に向けて成長する時間や機会をいただいております。他の財団にはなかなか見られない、血のかよった奨学支援事業のかたちは、このような距離感の近い小規模の集まりにおいて、より一層感じられました。

財団や本学の関係者の方々の支えがあって、現在私たち奨学生は活発に研究・活動に取り組むことができることを改めて実感するとともに、その成果を社会にむすんでいく決意を新たにしました。



9 関西大学 (2019年12月4日 於：ロウリース・ザ・プライムリブ大阪)

法学部4年 谷口 穂乃香

「関西大学証券奨学生の集い」は2019年12月4日(水)に大阪市北区のロウリース・ザ・プライムリブ大阪において、同友会員1名と奨学生6名のほか大学関係者と財団事務局の支援を受け、総勢19名で開催しました。

司会を私谷口と三宅が務め、理事長のご挨拶と関西大学学長のご挨拶と乾杯のご発声がありまして、その後、出席者の自己紹介と近況報告が行われました。奨学生からは現在取り組んでいることや将来に向けての意気込みなどのお話があり、先輩方からは学生時代の思い出や現在のお仕事についてなど、興味深いお話を沢山伺うことができました。

財団や大学関係の方からは、「頼もしい人になって欲しい」というお言葉を頂き、より一層、奨学生としての自覚を持ち、誇りを胸に、社会に出て活躍できるよう今後も邁進していこうという気持ちが強くなりました。美味しいお料理を囲みながら、会話が弾み、とても有意義な時間を過ごすことができました。最後は、関西大学副学長の中締めのご挨拶で終了致しました。

私は奨学生として参加させていただき、日頃ご支援をいただいている財団の方々や大学関係者、卒業生の方々と交流できたこと、そして司会という重要な役割を務めさせていただけたことを大変光栄に思います。

またこのような集いが開催された際には、今よりもっと成長した姿、頼もしくなった姿、で参加させていただきたいという目標が出来ました。



10 神戸大学 (2019年12月9日 於：酒心館さかばやし)

法学部4年 岡田 優希

「神戸大学証券奨学生の集い」は、2019年12月9日(月)に神戸市の酒心館さかばやしにおいて、同友会員10名と奨学生4名のほか大学関係者と財団事務局の支援を受け、総勢21名で開催しました。

美味しい日本酒と食事を楽しみつつ、出席者の自己紹介と近況報告を行いました。懇談会の中で、先輩方から貴重なお話を沢山伺うことができ、大変嬉しく思いました。また、神戸大学の魅力についての話も盛り上がり、有意義な時間を過ごすことができました。

今回の集いを通して、「奨学金のおかげで学生時代は学業に打ち込むことができました」といった声を多く耳にし、改めて奨学金の有難さを実感し、財団に対する感謝の気持ちがより一層強まりました。これからも、奨学金を通していただくことのできた数々の貴重なご縁を大切にしていきたいと思っております。そして、同友会員と奨学生との間の絆を深める重要な機会となる集いが継続的に開催されることを心から願っています。



※「2020年度証券奨学生の集い」は、開催見送りとなりました。

奨学生募集要項

2021年度奨学生募集要項 (概要)

2021年3月

本財団は、将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある資質優秀な学生を支援したいと考えており、この奨学金は、そのような学生の大学及び大学院における学業及び研究遂行のために給与するものです

(2) 他の奨学金（日本学生支援機構の貸与型奨学金及び所属大学・大学院による学費免除或いは学費免除に相当する奨学金を除く以下同じ）を受給又は応募（予定を含む）していない者

1. 奨学金の特色

- (1) 専攻分野は制約しない
- (2) 奨学金は給与であり返済の義務はない
- (3) 学業修了後の進路は本人の自由とする

5. 応募方法

必要書類を2021年4月1日から5月7日までの間に大学を通して本財団に提出してください

以上

2. 奨学金の額

月額 45,000円
(自宅外通学者は55,000円)

応募に際しては、本財団ホームページ (<https://jssf.or.jp>) をご覧ください

3. 採用予定数

60名程度

4. 応募対象者

以下の (1) 及び (2) に該当する者であって、学資の援助をすることが必要であると認められる者とします

- (1) 本財団が指定する大学に在籍する学部2年生、修士・専門職学位課程1年生又は博士課程1年生であって、本年4月1日現在において、学部生22歳以下、修士・専門職学位課程生25歳以下、博士課程生28歳以下である者



指定大学

応募ができる大学として、以下の 30 大学を指定しております。

北海道大学、東北大学、新潟大学、筑波大学、お茶の水女子大学、東京大学、東京工業大学、一橋大学、東京都立大学、慶應義塾大学、上智大学、中央大学、日本大学、法政大学、明治大学、立教大学、早稲田大学、横浜国立大学、名古屋大学、名古屋市立大学、京都大学、同志社大学、立命館大学、大阪大学、大阪市立大学、関西大学、神戸大学、関西学院大学、広島大学、九州大学 (北から順)

研究調査助成金・研究出版助成金 贈呈式開催

研究調査助成金及び研究出版助成金の給付にあたっては、年度毎に贈呈式を開催し、理事長から助成金受給者に助成金給付書を贈呈しています。

2019年度及び2020年度の研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式では助成金贈呈を記念し、本財団役員、評議員及び研究調査助成選定委員の皆様にご来賓としてご参加いただきました。

2019年度研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式

2019年12月2日 於：如水会館



稲野理事長



助成金給付書の贈呈



田中副委員長



懇親会



2020年度研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式

2020年10月2日 於：東京証券会館



稲野理事長



佐賀委員長



渡部委員



松田委員



※ 集合写真について：2019年度、2020年度とも前列はご来賓の皆様に、後列は助成金受給者の皆様にお並びいただきました。

研究調査助成金・研究出版助成金受給者

2019年度及び2020年度の研究調査助成金・研究出版助成金受給者は次のとおりです。

◇2019年度研究調査助成

2019年8月7日決定

研究代表者	研究調査課題	研究形態	金額(万円)
東京大学大学院 公共政策学 青井 千由紀	コミュニケーション技術の社会的影響とレジリエンス	個人	100
上智大学学部 経済学 釜賀 浩平	人口問題への社会的選択アプローチ	グループ	100
統計数理研究所 モデリング研究系 川崎 能典	市場制度変更が金融取引に及ぼす影響の高頻度データに基づく分析	個人	100
一橋大学大学院 経営管理研究科 小西 大	地域金融が地域経済活性化のために果たす役割	グループ	100
関東学院大学 経済学 田中 聡一郎	日本の住宅・金融資産格差の実証分析 —ポスト持家社会の住宅政策・資産形成支援にむけて	個人	100
法政大学 デザイン学部 中野 貴之	SNSによるディスクロージャーが証券市場の価格形成に及ぼす効果に関する実証研究	個人	100
一橋大学大学院 経営管理研究科 中野 誠	統合報告と利益調整	グループ	100
名古屋大学大学院 法学研究科 松中 学	金商法における不正取引のエンフォース —課徴金と没収・追徴の関係	個人	78
同志社大学 社会学 丸茂 俊彦	証券市場における注文形式と価格発見・流動性指標に関する研究	グループ	100
下関市立大学 経済学 森 祐司	新規株式公開企業の取締役会構成の決定要因	個人	90
10件			968万円

(五十音順)

◇2019年度研究出版助成

2019年8月7日決定

出版代表者(著者)	研究出版物タイトル	出版形態	金額(万円)
近畿大学 総合社会学部 安達 智史	再帰的近代のアイデンティティ論 —ポスト9・11時代におけるイギリスの移民二世代ムスリム	単著	100
新潟大学 経営戦略学 板倉 孝信	ポスト財政=軍事国家としての近代英国	単著	100
立命館大学 衣笠総合研究機構 酒匂 由紀子	室町・戦国期の土倉と酒屋	単著	100
大阪大学大学院 法学研究科 津野田 一馬	役員人事の法制度 —経営者選解任と報酬を通じた企業統治の理論と機能—	単著	100
徳島文理大学 総合政策学 橋本 誠志	倒産手続と情報資産	単著	100
鹿児島大学 文学部 日野 道啓	環境物品交渉・貿易の経済分析	単著	100
6件		600万円	

(五十音順)



◇2020年度研究調査助成

2020年7月20日決定

研究代表者	研究調査課題	研究形態	金額(万円)
立教大学 社会学部 石井 香世子	外国人労働者の再生産権と市民権の検証	個人	90
関西大学 社会学部 小井川 広志	マレーシア・イスラム経済のコロナ禍対応: ザカート・サダカの考察	個人	100
立命館大学 社会学部 加藤 雅俊	雇用保障重視型福祉国家の再編に関する比較研究 —日豪を事例として—	個人	94
一橋大学 経済学部 田中 万理	コロナ禍がもたらす経済的、政策的な不確実性についての研究: 中小企業経営者はどのように対応したか?	グループ	100
東京都立大学 人文社会学部 丹野 清人	基礎自治体におけるパンデミック下での外国人労働者受入れの比較研究	個人	87
東大社会学部 社会学研究科 保城 広至	時間の国際政治学: 国際危機における政策決定過程の分析	個人	100
京都先端科学大学 経済経営学部 李 立栄	中国におけるデータ駆動型金融に関する研究	個人	100
7件			671万円

(五十音順)

◇2020年度研究出版助成

2020年7月20日決定

出版代表者(著者)	研究出版物タイトル	出版形態	金額(万円)
明商大学 商学 浅井 義裕	中小企業金融における保険の役割	単著	100
大妻女子大学 人間関係学 井上 修一	特養入居者家族が抱く迷いと家族支援	単著	100
横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 小川 慎一	日本的経営としての小集団活動 —QCサークルの形成・普及・変容	単著	100
東京大学大学院 総合文化研究科 近藤 洋平	正直の徒のイスラーム	単著	100
東北大学大学院 法学研究科 西岡 晋	日本型福祉国家再編の言説政治と官僚制—家族政策の「少子化対策」化—	単著	100
国士舘大学法学部 国士舘大学大学院 総合知的財産科 法学研究科 最先端技術 関連法研究所 本山 雅弘	著作隣接権の理論	単著	100
九州大学大学院 比較社会文化研究院 山尾 大	紛争のインパクトをはかる——世論調査と量的テキスト分析からみるイラクの国家と国民の再編	単著	100
7件		700万円	

(五十音順)

研究調査助成等の募集要項

2021年度研究調査助成募集要項

1. 趣旨

この助成金は、学術の研究に従事している者に対し、その研究調査を奨励し、学術の振興を図り、もって社会の発展と福祉に寄与することを目的として給付する

2. 助成対象

(1) 助成対象者

助成対象者(共同研究者を含む)は、日本の大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している55歳(本年4月1日現在)以下の研究者(グループ研究の場合は複数の研究機関にまたがってよい。)とする

なお、大学院博士課程(博士後期課程)に在籍する者を共同研究者に加えることができる

(2) 助成対象分野

助成対象分野は、社会科学の各分野とする

(3) 申請の条件

原則として本年8月～翌年7月の研究調査に係る事案とする

なお、多年度に及ぶ場合には、1年経過毎に研究調査経過報告書の提出を条件とする

(4) その他

- ① 申請者の所属機関によるオーバーヘッドコスト(管理経費等)は、助成対象としない
- ② パソコン等の購入費用は、助成対象としない
- ③ 旅費交通費の金額が助成希望額の半分以上を超えてはならない
- ④ データベース等の購入費用が助成希望額の半分以上を超えてはならない

3. 助成金の額等

1件当たり100万円程度(1万円単位)とする
なお、助成金総額は1,000万円を予定している

4. 申請期間

2021年4月1日から6月10日(必着)まで

以上

2021年度研究出版助成募集要項

1. 趣旨

この助成金は、学術の研究に従事している者に対し、その研究調査成果の公表等に係る出版費用の助成を行い、学術の振興を図り、もって社会の発展と福祉に寄与することを目的として給付する

2. 助成対象

(1) 助成対象者

助成対象者(共同研究者を含む)は、日本の大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している55歳(本年4月1日現在)以下の研究者(グループ研究の場合は複数の研究機関にまたがってよい)とする

なお、大学院博士課程(博士後期課程)に在籍する者を共同研究者に加えることができる

(2) 助成対象分野

助成対象分野は、社会科学の各分野とする

(3) 申請の条件

- 申請時に完成原稿を提出すること
- 当年度の3月までに出版すること

3. 助成金の額等

1件当たり50万円から100万円程度(1万円単位)とする

なお、助成金総額は500万円を予定している

4. 申請期間

2021年4月1日から6月10日(必着)まで

以上

※募集に関する詳細は、本財団ホームページをご覧ください。

証券奨学同友会の活動

2019年度 - 2020年度

本財団の奨学生修了者で組織する「証券奨学同友会」は、会員相互の交流・親睦をはかることを目的に活動しております。2019年度-2020年度の活動状況は次のとおりです。

1 機関紙の発行

年1回発行している機関紙「証券奨学同友会報」は、2019年8月に第45号を、2020年9月に第46号を発行いたしました。第46号には新入会員の皆様から寄稿いただいた「奨学生修了にあたって」が掲載されています。



2 証券奨学同友会総会

2019年度の証券奨学同友会総会は、関西地区は6月8日(土)に梅蘭中之島フェスティバルプラザ店において、関東地区は6月15日(土)にレストラン アラスカパレスサイド店において開催されました。

また、当日会場では出席者により懇親会参加の感想や現役奨学生への激励のメッセージが多数寄せられました。



2019年度証券奨学同友会関西地区総会・懇親会



2019年度証券奨学同友会関東地区総会・懇親会

※ 各年度修了者の「奨学生修了にあたって」と「懇親会参加の感想&現役奨学生の皆さんへ」は、財団ホームページの「奨学生OB・OG専用サイト」の同友会情報にも掲載されています。

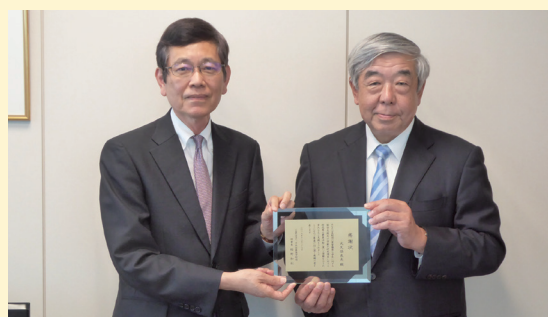
※ 「2020年度証券奨学同友会総会」は関東地区、関西地区とも開催見送りとなりました。

感謝状の贈呈

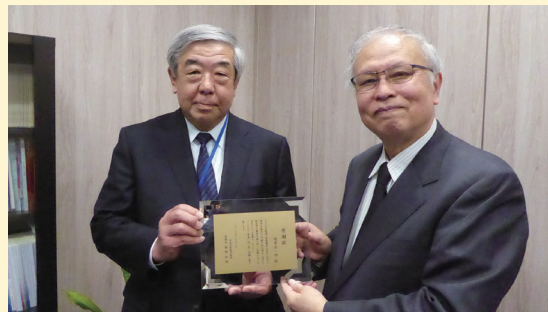
2019年度、2020年度にご寄附をいただいた方のうち、次の3名の方々に感謝状(記念の楯)を贈呈いたしました。



2019年7月24日、**出田信行**様(大熊本証券(株)代表取締役会長)から「叙勲を記念して財団の奨学事業支援のため」とのご趣旨でご寄附を賜りました。



2019年12月26日、**大久保良夫**様(日本投資者保護基金 理事長)から「叙勲を記念して財団の奨学事業支援のため」とのご趣旨でご寄附を賜りました。



2020年12月2日、**増井喜一郎**様(公益財団法人日本証券経済研究所理事長、本財団元副理事長)から「財団の事業支援のため」とのご趣旨でご寄附を賜りました。

ご寄附のお願い

資質優秀な大学生・大学院生に対する奨学援護、学術の研究調査に対する助成等の事業活動のためにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●お問い合わせ先

日本証券奨学財団事務局

電話：03-3664-7113 (Fax：03-3662-1607) E-mail：jssf.office@jssf.or.jp

●お振込先

口座名義：コウエキザイダンホウジン ニホンショウケンショウガクザイダン リジチョウ イナノカストシ
公益財団法人 日本証券奨学財団 理事長 稲野和利

口座番号：みずほ銀行 兜町証券営業部
普通預金 0510181

ご芳名をホームページ等に掲載させていただいております。なお、匿名を希望される方はその旨をお申し出ください。

寄附者御芳名(2019年4月～2021年3月)

寄附年月日	御芳名	区分	金額(円)	御趣旨
2019.4.23	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため (定年退職を機会として)
2019.6.8	匿名	個人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2019.7.5	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2019.7.12	SMBC日興証券株式会社 執行役員 本財団資産運用委員会委員 服部 博則 殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2019.7.24	大熊本証券株式会社 代表取締役会長 出田 信行 殿	個人	1,000,000	叙勲を記念して財団の奨学事業支援のため
2019.9.17	匿名	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2019.10.19	匿名	個人	5,000	財団の奨学事業支援のため
2019.10.29	匿名	法人	500,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2019.11.15	匿名	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2019.12.8	匿名	個人	5,000	財団の奨学事業支援のため
2019.12.26	日本投資者保護基金 理事長 大久保 良夫 殿	個人	1,000,000	叙勲を記念して財団の奨学事業支援のため
2020.2.27	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2020.3.30	日本証券金融株式会社 殿	法人	1,936,685	貸借取引に係る株主優待券等を有効利用して 証券界に寄与するため
2020.5.7	元奨学生 山崎 貴博 殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2020.6.2	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2020.7.20	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2020.9.25	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2020.10.13	匿名	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2020.10.14	匿名	個人	5,000	財団の奨学事業支援のため
2020.12.1	匿名	個人	20,000	財団の奨学事業支援のため
2020.12.2	公益財団法人日本証券経済研究所 理事長 本財団元副理事長 増井 喜一郎 殿	個人	1,000,000	財団の奨学事業支援のため
2020.12.4	SMBC日興証券株式会社 執行役員 本財団資産運用委員会委員長 服部 博則 殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2020.12.21	匿名	個人	200,000	財団の奨学事業支援のため
2021.2.26	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2021.3.4	匿名	法人	47,624	財団の奨学事業支援のため
2021.3.22	匿名	個人	1,000,000	財団の奨学事業支援のため
2021.3.30	日本証券金融株式会社 殿	法人	1,659,575	貸借取引に係る株主優待券等を有効利用 して証券界に寄与するため

以上の皆様からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

★これまでに頂戴したご寄附については、ホームページの「寄附者一覧」に掲載しております。



修了者インタビューへのご寄稿を募集しております

本財団では、各方面でご活躍されている同友会会員の皆様にインタビューさせていただいた内容をホームページの「修了者インタビュー」コーナーに掲載し、奨学生、証券奨学同友会員をはじめとした皆様にご覧いただいております。つきましては、下記要領にて原稿をお寄せくださいますようお願いいたします。何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

執筆内容

- ① 自己紹介
- ② 財団奨学金への応募のきっかけ
- ③ 学生時代の思い出
- ④ 財団の行事に参加して
- ⑤ 後輩へ一言

✿ お写真を掲載したいと存じますので、お差し支えなければご近影の画像ファイルをお送りください。

参考サイト <https://jssf.or.jp/letter.html> (修了者インタビュー)

送付先メールアドレス jssf.office@jssf.or.jp

メール件名 修了者インタビュー寄稿
(大学・大学院名〇〇〇〇：氏名〇〇)

提出受付 随時



ホームページの更新について

いつも本財団のホームページをご利用いただきありがとうございます。

ホームページの奨学生・OB・OG専用サイト、イベント情報、奨学生への連絡等は随時更新されています。

スマートフォンをご利用の方は下記のQRコードからアクセスしてください。



事務局だより

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により各種イベントが中止又は見送りとなり、社会経済活動の停滞から本紙の発行も見送りのやむなきに至りました。そんな状況下で、持続的な財団活動をどのように行うのかを模索した一年でした。

採用奨学生への奨学金給付にあたり、奨学生選考委員から「財団の奨学金の理念を伝えるために、何らかのかたちで授与式を開催すべき。」とのご意見をいただきました。

事務局スタッフ一同、試行錯誤を繰り返し、Web会議システムを利用した奨学金授与式を開催することができました。ご協力いただいた関係者の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



公益財団法人

日本証券奨学財団

since 1973



みらいにつなぐ今をつむぐ